

(別紙4(2))

目標達成計画書

事業所名 きたふくグループホーム「自悠の郷」帆柱作成日: 平成 26 年 11 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は2ヶ月毎に開催しているが、他の委員の参加が難しく、参加委員の増員を図り、地域に密着した運営推進会議として、発展出来る取り組みをしていく。	参加委員に、地域代表や有識者、知見者等から、ホーム運営に協力してもらえる方を募り、参加委員にも、知識や情報の入手等で役に立つ会議として、相互協力関係を築き、ホームの発展に貢献していく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	面会や行事参加の家族と話し合い、意見や要望を聴いているが、話す機会の少ない家族とも信頼関係を構築し、なんでも話せる関係の中で、意見や要望を聴き取っていく。	ホーム便りに、外出の写真やレクリエーションで、楽しそうな利用者の写真を掲載し、家族全員に送付し、家族の安心と意見や要望、苦情が言いやすい関係の構築を実施していく。	12ヶ月
3	37	災害対策	年2回避難訓練を、自主防災組織で実施しているが、最近では、消防署の参加がないので、消防署の協力と指導を得て、避難訓練を年1回は実施していき、非常食や飲料水の準備を行う。	非常災害に備え、夜間に夜勤者1人で、利用者全員を安全に避難場所に誘導し、避難場所で見守ることの難しさを実感し、近隣住民の協力と避難訓練の参加をお願いして、利用者全員の安全な暮らしの支援に取り組んでいく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。